

WANTED! ウメ・スモモ・モモ・サクラを枯らす クビアカツヤカミキリ

フラスを発見したら

※サクラは10,000円

懸賞金 30,000円

世界農業遺産を守ろう!

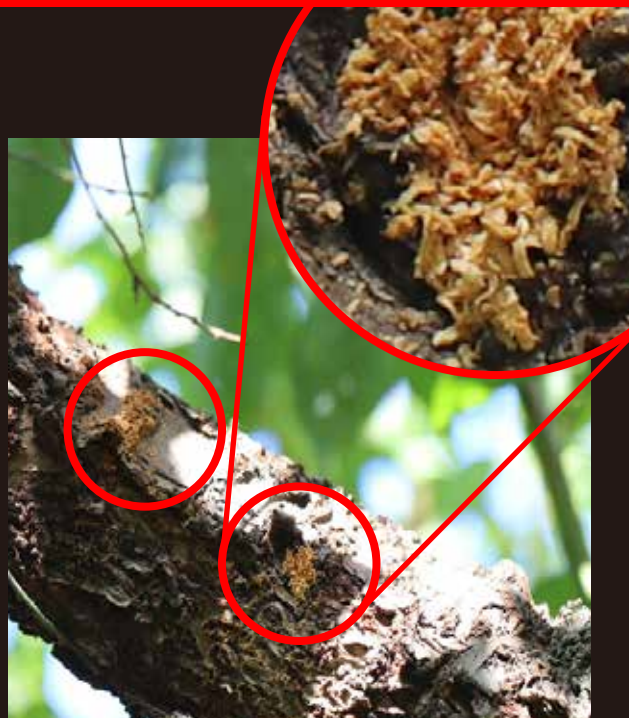
9月下旬、みなべ町で特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」のフラス(木くずと虫の排せつ物が混ざったもの)が発見されました。

クビアカツヤカミキリは繁殖力が非常に高く、ウメをはじめ、スモモ、モモ、サクラなどのバラ科植物に寄生します。幼虫は樹木の内部を食い荒らし、樹勢を弱らせ、最終的には枯死させてしまいます。

このたび、田辺うめ対策協議会では、クビアカツヤカミキリの早期発見を目的として、フラス発見者に対する懸賞金制度を設けました。

日本一の梅産地であり、世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」を有する当地域の梅や梅産業を守るためには、早期発見・早期防除が何より重要です。

クビアカツヤカミキリと思われるフラスを発見された場合は、速やかにご連絡ください。



5cm程度あれば侵入しますので、枝にも注意!

■ 懸賞金について ※1人(ご家族)1回限り、予算に達し次第終了

田辺市内でフラスを発見した場合

①30,000円

- ・生産活動に供する果樹(ウメ・スモモなど)
- ・田辺市内のご自身の園地で営農されている方に限る

②10,000円

- ・それ以外(サクラなど)
- ・一般の方も対象(田辺市民に限る)

※ウメやスモモでも庭木は②となります

※民有地には所有者の許可なく立ち入らないでください

※発見者、園地所有者の氏名の公表はありません

※懸賞金の対象とならなくてもご連絡をお願いします



地面に落ちたフラスも重要な手掛かりに!
スプーンで削り取ったような形です

連絡先

田辺うめ対策協議会事務局

(田辺市梅振興室) :0739-26-9959

田辺市農業振興課 :0739-26-9930

クビアカツヤカミキリとは？

- 特定外来生物に指定（もともとは中国、朝鮮半島、ベトナムなどに分布）
- 体長2～4cm、ツヤのある黒色で胸部（クビ）が赤い
- 幼虫がウメ、スモモ、モモ、サクラ等の樹木内部を食害し、枯死させる
- 飛翔力、繁殖力が高く、被害が急速に拡大、激甚化する

ほぼ
実寸大



クビアカツヤカミキリの1年

休眠

幼虫活動期

休眠

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

成虫活動期



樹の内部（蛹室）



成虫



成虫の交尾

株元に積もった粉状のフラス



枝のミンチ状フラス



樹の中の幼虫



クビアカツヤカミキリはこんなところにいます！

枝、株元など見てみてください！ ※フラス（幼虫の排泄物と木くず）

クビアカツヤカミキリの成虫は捕殺してください！

クビアカツヤカミキリは特定外来生物に指定されており、生きたまま持ち運んだり、飼育したりできません。違反した場合は罰則があります。

和歌山県の被害状況など詳しい情報
詳細は、和歌山県のホームページ「クビアカツヤカミキリの侵入防止及び防除対策」をご覧ください。

